

## 今年もきれいに咲きますように!



春の日差しが心地よい5月15日、例年行っている小山田保育園児を招いての、総務部美化事業「花苗の定植作業」を行いました。当日は在園児12名と保育園の先生、部員を含め総勢21名で23個のプランターと2か所の花壇に黄色とオレンジ色のマリーゴールドの花苗を植えました。プランター運びから始まり、力仕事の土入れは部員が行い、土ならし、花苗の植え付け、水やりと作業を進め、昨年参加した園児が多いせいなのか手際が良く予定していた時間よりだいぶ早く作業が終わってしまいました。集合写真では、毎朝園で踊っている「昆虫太極拳」のカマキリやダンゴムシ、バッタ、カメムシのポーズで“パシヤリ”、笑顔の可愛い写真が撮れました。



## 今年もスタートしました!!

教育振興部「かけっこ教室」が今年も6月7日を皮切りに、小山田地区外13名を含め22名の児童が受講登録し短距離走5日間、長距離走2日間の日程でスタートしました。初日は旧小山田小学校グラウンドを会場に19名の児童が参加してくれました。昨年度に引続き「セントラルフィットネスクラブ24盛岡」尾芝インストラクターに指導にあたっていただきました。尾芝インストラクターは令和4年度から指導しており、児童もインストラクターもお互いに顔見知りです。教室も和気あいあいの雰囲気の中で進められ、熱中症予防の観点から数回の休憩と水分補給をしながら低学年の1・2年生は1時間、3年生以上は1時間半の時間で行いました。



（尾芝インストラクター）

6/7 旧小山田小学校グラウンド



6/21 日居城野陸上競技場



# ママカフェ 「健康は食事と会話」 から

2年前から当会事業でお世話になっている南成島の佐野静子さんがお食事処『自然のめぐみ 福』をオープンしたとのお話を伺い、5月29日にそこを訪れ「カラダが喜ぶ食事」をテーマにお食事と無農薬野菜の暮らしと健康について講話を頂きました。佐野さん曰く、食事に関しても便利・手軽なものが



多くあるが、体に良いかといえはそうではなく、こだわりは除草剤等を使わず、水・土・太陽・樹木…自然の恵みに感謝し、野菜を育てること。無農薬で、できるだけ天然のものを使うようにしているそうです。参加者は佐野さんのお話に感銘を受け、食事は舌鼓を打ち、満足したようでした。



## 花の寄せ植えにチャレンジ

5月30日、産業振興部の地域農業研修事業「楽しい家庭菜園」講習会を開催しました。今まで野菜づくりを中心に開催して来ましたが、今回初めて花の寄せ植えにチャレンジしてみました。今まで指導をいただいていた紫波町日詰にある佐藤政行種苗を会場にお借りし、職員から指導を受けました。プランターの大きさに合わせ店内で販売されている花苗5株を、花丈や色、大きさなど自由に選び、最初に水捌けを良くするために鉢底石(軽石)を底に少量敷き詰めてから、培養土入れ、育苗ポットから根を崩さないように取り出し、後は自分好みに花の配置を考えながら苗を植え付けて行きます。同じものが二つと無い自分好みの寄せ植えでした。



【豆知識】ポットから取り出した際に底の根が輪を作っていたときは取り除いてくださいとの事でした。また、背の高い花は後方に配置するのがベストなそうです。

## 市担当者を囲んでの研修会を開催



中山間地域等直接支払制度が平成12年度から始まり令和7年度から第6期がスタートします。産業振興部が窓口となり、6月1日に小山田地区の協定組織が一堂に会し、市農林部の担当職員と新たな加算措置の内容とその対応について意見を交わしました。ひとつの集落協定組織で出来なかったことを複数の組織



と連携し、事務の一元化や、農作業や機械・施設利用の共同化など様々な活動が出来る様になりました。また、農業従事者の減少に対応するために、リモコン式自走草刈り機やドローンによる播種・防除・農薬散布など、スマート農業による作業の省力化と効率化の取組に対して加算措置が取られるようになりました。地域の農業振興や農地の維持も地域づくりのひとつの課題として捉えて行かなければならない事項となります。



# 【お知らせ】行政区対抗ソフトボール大会開催

今年度予定されている「行政区対抗ソフトボール大会」開催に向けて、当会三役と総務部の合同会議が7月4日に開催されました。例年お盆期間中の15日に、帰省されてきた家族の皆さんを交え、地域の交流と親睦を深める事と、日頃の運動不足解消を図ることを目的に開催して参りました。今回は雨天の影響により中止となりましたので7年振りの開催となります。今回はどこの行政区が優勝するのでしょうか!! 皆様のご参加と出場選手への応援をよろしくお願い致します。

- 日 時：令和7年8月15日（金）  
9時00分（開会式）から 12時00分（閉会式）  
※雨天の場合は中止といたします。

- 場 所：旧小山田小学校グラウンド

★選手登録：出場選手の取りまとめは各行政区長が行っておりますので、地元行政区長へ直接お申込みをお願いします。  
女性の出場も大歓迎!!!です。

★競技規定：トーナメント方式とし3位決定戦まで行います。  
5イニングまたは50分の時間制限とし、50分経過した時点でそのイニングをもって終了となります。



## クマの目撃情報が多発しています、ご注意を!

最近東和町内で多数のクマの目撃情報が有線等で良く耳にするようになりました。小山田地区だけでも、4月11日には北川目6区地内、5月14日には前田6区地内、6月7日には北小山田1区地内、6月18日には前田9区地内など今年度に入ってからすでに7件目撃されています。幸いにも襲われてのケガ等には至っていませんが、前田では牛舎物置に置いていた飼料袋が荒らされるという被害が発生しています。また、今月4日に北上市和賀町で自宅の居間に居た女性が進入してきた熊に襲われ死亡するという痛ましい事故が発生しています。今は山林で見掛けるだけでなく住宅地にまで出没しています。いつ、どこで出くわすか分かりませんので十分注意をしてください。

【花巻市ホームページより】

農作業中にクマに出会わない工夫をしましょう

- ・作業中にラジオなど音の出るものを携帯するなど、自分の存在をアピールする。
- ・クマの出没情報に留意し、クマの行動が活発になる早朝、夕方の作業時には周囲に気を付ける。
- ・森林、斜面林などのそばの農地は、クマの出没ルートとなりやすいので特に注意し、周囲の灌木の刈り払いなどを行う。
- ・頻りにクマが出没する地域においては、できるだけ単独での作業は避ける。
- ・クマを誘因する生ごみや野菜・果実の廃棄残渣を適切に処理する。
- ・農地では果樹園が最も被害を受けやすいので、収穫後の放置果実は適切に除去する。
- ・クマは収穫物収納庫に入り込んで採食することもあるため、収納庫はきちんと施錠するなど管理を徹底する。
- ・草刈機などに使われるガソリンなどの揮発性物質も、クマを引き寄せるため保管場所等に注意する。

★クマを目撃したり、出没した形跡があったときは、下記へご連絡をお願いします。  
花巻警察署（0198-23-0110）又は市農村林務課（0198-24-2111〈代表〉）  
東和総合支所地域振興課産業係（直通電話：0198-41-6512）



# = 人口減少、小山田だから出来ることから取組んでみませんか =

いわてマナビイマガジンNo.303（2025.6.20）より

岩手県立生涯学習推進センター（花巻市北湯口2-82-13）発行

## 「地域づくりは人のつながりづくり」

先頃、令和6年度の日本の出生数が初めて70万人を割り込んだとの報道がありました。本県の出生数も4,896人（前年比536人減）と過去最少を更新し、人口減少が進んでいます。出生数の減少により経済や社会に様々な影響を及ぼすことが考えられています。例えば、将来的に働き手が不足して経済成長が鈍化したり、税収が減少して社会保障制度の維持が難しくなったりする可能性があります。特に人口減少が顕著な地方では、地域の活力が低下し、過疎化が加速する可能性も心配されています。

では、人口減少の課題解決に向けて個人としてどのようなことができるのでしょうか。先月30日、当センターで『地域学校協働活動推進員（コーディネーター）等研修会』を開催しました。「地域学校協働活動」とは、地域と学校がパートナーとなり、地域全体で子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動のことです。

講師を務めたとちぎ市民協働研究会代表理事の廣瀬隆人氏は、「地域づくりは人のつながりづくり」であり、人と人のつながりが強ければ強いほどその地域は暮らしやすくなり、子育てや子どもの教育、防災、健康づくりなどの地域課題の解決にもつながるとお話されました。また、人のつながりづくりの基本的な考え方として、新たに特別なことをする必要はなく、いつも何かと気にかけてくれる地元の人々のことや、学校や公民館などで地域と一緒にずっと変わらずに取り組んできたことを大切にしていけることが大事であると説明されました。

挨拶とともにご近所さんとたわいも無い世間話をする。このような小さなことの積み重ねによって人とのつながりができ、やがてそれが地域全体に広がって暮らしやすい地域をつくり、人口減少などの課題解決にもつながっていくということでしょうか。

誰にとっても、とりわけ未来を担う子どもたちにとって住みよい地域社会をつくるのが、人口減少が続く今求められていると感じます。「子に過ぎたる宝なし」、子どもたちの明るい声や元気な姿は、地域に活力をもたらしてくれます。暮らしやすい地域づくりに向けて、まずはご近所さんとの世間話など、ちょっとしたつながりづくりから始めてみませんか。

令和7年6月末現在

( ): 前月比

小山田の人口	世帯数/戸	男/人	女/人	計/人
第1行政区	53 ( 0 )	76 (-1)	62 ( 0 )	138 (-1)
第2行政区	147 ( 0 )	180 ( 0 )	180 (-2)	360 (-2)
第3行政区	153 (-1)	183 ( 0 )	211 (-1)	394 (-1)
第4行政区	114 ( 1 )	160 ( 0 )	159 ( 2 )	319 ( 2 )
計	467 ( 0 )	599 (-1)	612 (-1)	1,211 (-2)

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています



タチアオイ  
秋葉/菊池征一郎宅  
07.7.3撮影

### ～私のひとり言～

6月8日に花巻市教育委員会より、小中学校の児童生徒数の推移と今後の見通しについて示されました。その中で東和小学校について触れてみます。今年度の児童数は287名15学級となっていますが、現在の出生数を見て令和13年度には127名7学級と半数まで減少してしまうとの見通しだと示されました。出生率から予測される令和19年には52名5クラスと初めて複式学級となる年度との見通しなそうです。この傾向は東和町に限った事ではなく花巻市全域に見られます。前号でも触れましたが、今子育てしている世帯を支援していくのか、将来子育てしていく世代（ひと）を支援していくのか、皆さんはどう考えますか。今が大事なのか、将来が大事なのか、今一度考えてみてはいかがでしょうか。（菊池）

発行：明日の小山田を考える会・電話：0198-42-2941  
ホームページ：http://www.asuno-oyamada.jp  
メールアドレス：asuno-oyamada@tuba.ocn.ne.jp

